

成果の説明書

(氏名) 長野 博一	(学部) 地域政策学部
1 重要事項 (1) 教育活動 ・担当講義：都市政策論、都市計画学、都市経営論、都市再開発論、景観計画論ほか 講義科目では講義資料等を WebClass から提供し、各回で課すリアクションペーパーとその評価は次回講義時にフィードバックした。また良い視点が記載されたリアクションペーパーは講義中の解説時に紹介し、教員の私見と共に受講生へ共有した。全講義を録画し、学生が振り返れるようオンライン上に展開、視聴可能な状況とした。 (2) 研究活動（主な履歴） ①著書 ・都市政策総論，単著，2025 年 10 月 10 日初版，創成社，著者：長野博一 ②学術論文 (審査付き論文) ・名古屋市における木造住宅密集地域の買物実態と支援策に関する研究，共著，2025 年 10 月，都市計画論文集/60 巻 (2025) 3 号，日本都市計画学会，pp799-805，著者：樋口恵一，村上滉一，長野博一 (その他) ・離島における交通課題を踏まえた地域公共交通計画の策定：東京都大島町を事例として，共著，中央復建 C.技報 = Chuo Fukken Consultants technical report (56) 55-57 2026 年 1 月，著者：榎本慎也，長野博一，吉岡正人，須賀佑実子，児玉創 ・離島におけるミニ PT 調査を通じた島民の移動実態の把握：東京都大島町を事例として，共著，中央復建 C.技報 = Chuo Fukken Consultants technical report (56) 52-54 2026 年 1 月，著者：須賀佑実子，長野博一，榎本慎也 ③学会発表等 ・大島町における地域公共交通活性化の取り組み、共同，2025 年 9 月 13 日，第 20 回日本モビリティマネジメント会議，著者：榎本慎也、須賀佑実子、小出晃、川上健太、大野悠貴、長野博一、大島町、大島旅客自動車株式会社、一般社団法人大島タクシー協会 ・東京都大島町における交通課題の分析と対応策の検討，共同，2025 年 6 月 2 日，第 7 回土木技術者実践論文集研究発表大会，著者：須賀佑実子、長野博一、榎本慎也 ④科研費 C 採択研究（代表者） ・バリアフリーマップの現状と課題に関するレビュー ・バリアフリー基本構想策定自治体が抱える課題の整理（調査を実施） ・国土交通省総合政策局バリアフリー政策課と連携した取り組み ほか ④企業との共同研究ほか ・欧州調査研究 8 月 9 月（英国・仏国） 英国運輸省・ロンドン市交通局とのミーティング、仏国モビリティ省・パリ市等自治体・SNCF とのミーティング、王立藝術大学院との共同研究 (3) 社会活動（主な履歴） ①セミナー等・講師、基調講演など ・移動制約者のアクセシビリティを考慮した交通不便地域の考え方整理（日本福祉のまちづくり学会・事業委員会 講演）2026 年 2 月 16 日 ・地方自治体のバリアフリー政策の展望（国土交通省関東運輸局「移動等円滑化促進方針・基本構想策定支援セミナー」基調講演）2026 年 1 月 19 日 ・市民参加のデザインによる共創型まちづくりの論点整理（東吾妻町まちづくり講演会 基調講演）2025 年 12 月 23 日	

・コ・クリエーション（共創）で育てる「まち」が求める市民参加のデザイン（東日本総合計画株式会社 2025 年度技術発表会 特別講演）2025 年 9 月 25 日 ・ウォークアブルなまちなか形成に必要な都市のデザイン（高崎経済大学連携公開講座 講師）2025 年 6 月 7 日 ・国土交通大学校専門課程「バリアフリー研修」講師，2025 年 7 月 ・民間コンサルタント企業にて技術者研修 講師 2025 年 5 月・12 月 ほか ②審議会等委員 ○国土交通省 ・総合政策局 基本構想等作成ガイドラインの改定等に関する検討会 委員 ・関東運輸局バリアフリープロモーター ほか ○群馬県 ・景観審議会 委員 ・地震被害想定調査検討委員会 委員 ・県土整備部指定管理者評価委員会都市公園部会 委員 ・住宅供給公社 中期経営計画等検討委員会等 委員 ほか ○安中市 ・都市計画審議会 会長 ・都市計画マスタープラン策定委員会 委員長 ・都市計画道路見直し検討委員会 委員長 ・碓部温泉地区バリアフリー基本構想等検討協議会 会長 ほか ○伊勢崎市 ・都市計画マスタープラン策定委員会 委員長 ○福島市 ・バリアフリー基本構想推進協議会 会長 ○大島町（東京都） ・地域公共交通活性化協議会 委員（職務代行者） ○調布市 ・公共交通活性化協議会 副会長 ○越谷市 ・大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会 アドバイザー ○熊谷市 ・人流分析まちなか再生委員会 委員 ほか ③学会活動 ・日本福祉のまちづくり学会 市民参加のデザイン特別研究委員会 委員長 ・日本福祉のまちづくり学会 学術研究委員会 委員 ・日本福祉のまちづくり学会 地域福祉モビリティのデザイン特別研究委員会 委員 ・日本建築学会 居場所研究 WG 委員 ほか
2 その他の事項 ・自治体との連携研究や企業との共同研究などを進める ・学際的な学会との連携を図り、分野横断的な研究を進める
3 次年度以降の計画・抱負 （1）教育活動 大学院教育の充実を図る （2）研究活動 受託研究（代表者）等の充実を図る、企業との共同研究を進める （3）社会活動 行政機関からの各種審議会等への参画、地域課題解決へ貢献。自治体との連携事業など、地域課題解決へ向けた研究活動との連動を図り、学生の教育啓発へ繋げる